

2019 年度電気電子工学科講義「物理学」について

白井 英俊

講義は月曜日 1 限、教室は名古屋学舎 162 教室です。前半の 7 回(力学)を白井が、後半 7 回(電気、電磁気)を佐藤先生が担当します。朝早い時間帯ですが、遅刻、欠席をしないよう、頑張りましょう。

6 月 3 日には力学の試験、7 月 29 日には電気／電磁気の試験を行います。単位認定は、両方の試験の成績と、出席及び宿題の提出回数にて判定します。物理学は必修科目で、今後の学習に影響するだけでなく、不合格になると進級できないことがあります。なお再試験はありませんが、不合格者を対象に、秋学期に再履修者用の講義を予定しています(ただし F 判定者にはその権利はありません)。

物理学前半の「力学」講義では、以下の教科書を使います。必ず購入して予習復習に努めてください。一回の講義でおよそ 2 章ずつ進み、7 回の講義で 15 章まで学習します。

西浦 宏幸・田中 東. (2013). 『大学新入生のための力学』. 東京: 共立出版.

注意: 古い版では誤植が多いので、後述の『物理学ウェブページ』の正誤表を必ず見ておくこと!
なお、後半の「電気／電磁気」講義(佐藤先生担当)では、以下の教科書

西浦 宏幸・藤井研一・田中 東 (2010) 『入門工系の電磁気学』 . 東京: 共立出版
を使います。両方を用意しておいてください。

中京大学生協には 4 月中旬くらいまでしか置いていませんので早めに購入してください。

力学の講義は「反転授業」形式で行います。家で教科書やビデオ教材などから学習し、演習問題を解いてきます。講義時間では質問に答える、また演習問題や宿題の解説を行います。講義にはノート(ルーズリーフは避けた方がよい)、赤黒青のボールペンまたは鉛筆(HB か B を推奨)を用意すること。

自分で学習しないとこの講義は成り立ちません。学習しないことによる損失や、努力したことによる利益はみなあなたが次第です。宿題未提出や遅刻や欠席が多いと試験を受けられません(F 判定になる)。

白井のオフィスアワー: 11 号館 6 階、水曜日の 1 限目です。ただし、月曜 5 限の電気電子工学基礎でも質問ができますし、メールならいつでも受けつけています:

sirai@sist.chukyo-u.ac.jp

あてに質問(相談内容)を送ってください---ただし、氏名と学籍番号を明記すること。

例題や問題を自分の頭で考え、仲間同士で説明したり話し合ったりしてください。物理の考え方に慣れる、思考法を身につけることが大きな目的です。法則を丸暗記したり、問題の答えを覚えたりすることは、害が多く益はありません。法則すら、基礎的なことから導かれるものです。その考え方をこの講義を通して学んでください(ついでに言えば、それを支えている数学の基礎固めをしておきましょう)。

ビデオ教材は Chukyo MANABO では配布しません。次のサイトにアクセスしてください:

<http://lang.sist.chukyo-u.ac.jp/Classes/Physics/index.html>